

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム ルンビニー

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

真島 彩

評価完了日

平成 19 年 7 月 20 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102336		
法人名	医療法人 ビハーク		
事業所名	グループホーム ルンビニー		
所在地	松山市安城寺町 (電話) 089-978-7515		
管理者	真島彩		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年9月14日	評価確定日	平成19年10月30日

【情報提供票より】 (平成19年8月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤	18人, 非常勤 3人, 常勤換算 19.8人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	46,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年8月1日現在)			
利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	6 名
要介護5	5 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.3 歳	最低 77 歳	最高 98 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>家族会は年2回行い、ご家族だけで話し合うような時間も設けておられる。ご家族の来訪時には「ご家族の声の大切さ」を伝え、意見や要望を出していただけるよう働きかけておられる。苦情処理ノートを作成し、活用してご家族の声を運営に反映されている。</p> <p>職員は、利用者一人ひとりに日々寄り添い、それぞれの意向や思いの把握に努めておられ個別ケース記録に記録し、職員で共有されている。</p> <p>トイレの入り口に「つかっています」「あいています」の札があり、利用者が安心して使用出来るようになっていた。トイレから浴室・脱衣所に移動できる造りになっている。職員は、利用者の居室にはノックして声をかけてから入室されていた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、事業所の理念と行動指針を決め、日々取り組まれている。利用者の受け入れの際には、職員の意見を聞き取り組みを始められた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・全職員で自己評価に取り組み、ユニットごとに話し合いまとめられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・運営推進会議時、事業所の取り組みについての報告をされている。民生委員の方やご家族の方に事業所の畑作りの協力をお願いされた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・事業所は、ご家族とのつながりを大切に考えておられ、ご本人の身体の状態や行事報告、金銭管理等について連絡や報告を密に取り、連携を図れるよう取り組まれている。事業所の運営上の改正部分についてもご家族にお話をされている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・町内会の回覧板を職員と利用者で回しておられる。近くの幼稚園児が利用者の誕生日のお祝いに来てくれる。祭りの子供ちょうちんやおみこしが立ち寄ってくる。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各フロアで職員全員の意見を取りまとめ、理念を作成し、掲示している。</li> </ul> <p>(外部評価)</p> <p>職員で話し合い「ひとりひとりの想いをくみとって生活を豊かに」「人として当たり前に関わりと支援」という理念を作り上げておられる。</p>		事業所では、さらに利用者が地域の中でその人らしく暮らせるよう支援することを理念に盛り込んでいきたいと考えておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理念をもとに、月目標を決めて日々の生活に取り組んでいる。一ヶ月に一回のミーティング時に確認し合い反省も行っている。</li> </ul> <p>(外部評価)</p> <p>理念のもと、行動指針を全職員で作成し、毎月目標を決め職員で共有して取り組んでおられる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>理念、行動指針を見やすい所に掲示する。</li> <li>行動指針が職員に更にケアに活かせるようミーティング等で浸透する。</li> </ul>
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族会や運営推進会議を開き理解してもらえるよう取り組んでいる。</li> <li>ホーム便り、ホームページの作成。</li> <li>入居時にご家族に理念について説明している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の集まり等の機会に理念についての説明を行う。</li> </ul>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・進んであいさつや会釈をするよう心掛けている。(バス停でバスを待っている方にも声をかけるようにしている) ・気軽に立ち寄ってもらうほどの付き合いには到っていない。		・もっと近所の方と交流できる機会を作りたいと思う。(お茶会などをして、地域の人とのネットワークを広げる)
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・回覧板を入居者さんと一緒に次の方の所へ持って行っている。 ・近くの幼稚園との交流。 ・地域行事の参加。 ・お遍路さんのお接待をしている。		・入居者一人一人に合った地域行事に参加し、交流していきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・看護学生の実習を受け入れている。 ・地域住民への認知症の啓もう活動が実施できていない。		・地域住民を対象に、認知症の理解や接し方の勉強会を行っていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・昨年は、外部評価を元に改善に取り組んだ。 ・自己評価は全員で行い、職員全体で取り組んだ。		(外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、ユニットごとに話し合いまとめられた。前回の評価結果を受けて、事業所の理念と行動指針を決め、日々取り組まれている。利用者の受け入れの際には、職員の意見を聞く取り組みを始められた。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			・毎回、評価の取組状況についての報告や話し合いを行っている訳ではない。		・タイムリーに評価への取組状況について報告・意見交換していきたい。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の取り組みについての報告をされている。民生委員の方やご家族の方に事業所の畑作りの協力をお願いされた。		さらに、今後、会議時に、災害時の協力についても話し合っていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			・特に実施していない。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、市の担当者より「事業所側から地域に向けて提案等をしてみてはどうか」というアドバイスを受け、今後、災害時の協力についても話し合いを行なっていきたいと考えておられた。今後、市職員の研修を受け入れる予定となっていた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			・今までは個々の学習に任せていたが、成年後見制度を利用する入居者がおられるので、職員に学習の機会を持ちたい。		・左記に同じ
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			・ミーティング時に勉強会をもち、防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・ 契約時や解約時には十分な説明を行い、納得していただくよう努めている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・ 重度な方が多く、自分の思いや意見を表出することが難しい方が多くいらっしゃるが、表情やしぐさからその方の思いをくみ取る努力をしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・ 面会時やTELを利用して随時報告している。 ・ ケアプランを説明し、ご家族の意見を伺っている。		・ 新人職員でも同じような対応ができる教育をしている。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・ 日頃からご家族が話しやすい人間関係作りに努めている。 ・ 家族会では職員が席を外し、家族同士で話し合ってもらう時間を取り、意見・苦情を出していただいている。		(外部評価) 事業所は、ご家族とのつながりを大切に考えておられ、ご本人の身体の状態や行事報告、金銭管理等について連絡や報告を密に取り、連携を図れるよう取り組まれている。事業所の運営上の改正部分についてもご家族にお話をされている。
		(外部評価) 家族会は年2回行い、ご家族だけで話し合うような時間も設けておられる。ご家族の来訪時には「ご家族の声の大切さ」を伝え、意見や要望を出していただけるよう働きかけておられる。苦情処理ノートを作成し、活用してご家族の声を運営に反映されている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・運営者、管理者は職員の要望や意見を聞くように心がけてはいるが、不満や苦情は言い難い部分も多いので把握しきれていない可能性もある。		・新人職員の採用時、適正かどうか現場スタッフの意見を聞いている。 ・更に職員が意見を言いやすい雰囲気作りに努めている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ・夜間入浴する時は遅出の時間を配慮している。 ・調理時間帯は多忙のため人員増をしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・職員の異動はなじみの関係を考慮し、止むを得ず必要な時のみとしている。 (外部評価) 新人職員は、研修期間を設け、利用者との関係作りや職員同士統一したケアを提供できるよう取り組まれている。職員の異動等については、ご家族へも伝えておられる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・外部研修を受ける機会をできるだけ確保している。その報告会を内部で行っている。 (外部評価) 事業所では、全職員が外部研修を受講できるよう推進しておられる。カンファレンス時に研修内容を報告されている。毎月行動指針を決めて、内部研修も行っておられる。		・内部研修の機会が少ないのでもう少し多く確保していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価に毎年参加している。</li> <li>・愛媛県グループホーム連絡協議会推進の研修会を通じて同業者との交流を持っている。</li> </ul>		
			(外部評価)		
			県GH連絡協議会主催の研修に参加し、互いに情報交換をされている。相互評価にも取り組まれた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と積極的に関わりを持つ。</li> <li>・悩みやストレスを把握するよう努めている。</li> <li>・時には職場を離れて気分転換する機会を持っている。</li> </ul>		・少人数の職員の間人間関係に更に配慮したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営者は度々グループホームに来て職員と接しており、職員のモチベーションを高めるよう努めている。</li> </ul>		・運営者と職員との面談の機会を設け、心の距離をより近づけたい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談から入居までにフェイスシートを基に本人の思いをできるだけ把握しているが、場合によってはあわただしい入居となってしまう場合もある。</li> </ul>		・入居までにご本人がホームに訪ねてこられたり職員がご自宅に訪問する機会を複数回持つてるようにしたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  ・ご家族の想いを表出しやすい良い関係作りに努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  ・努めている。		・馴染みながらのサービス利用が望ましいがご家族の協力も必要である。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  ・入居までにグループホームをご本人が訪ねて来られる機会を多く持つことが望ましいが、現実には1～2回である。  (外部評価)  管理者が利用予定者を訪問してお話をされたり、ご本人、ご家族が事業所を訪れ、他の利用者の方と一緒に過ごす等されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  ・介護する側、される側という区別はせず、一つ屋根の下で暮らす家族のような雰囲気作りに努めている。 ・家事などで分からないことは教わったり、助けてもらったりしながら(聞いたり、頼んだりして)互いに支えあう関係を作っている。  (外部評価)  職員は、「利用者が落ち着け、笑顔が引き出せるように」取り組んでおられる。職員は利用者に家事のことを教わったり、時に、庭の観音様のお参りに誘われる事もある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・ご家族が面会に来られた時は、状態を伝え、また色々な情報などを頂くように努めている。 ・ケアプランにご家族の意見・希望を取り入れてケアに活かしている。 ・行事の時には参加をお願いするなどして、一緒に本人を支えていくよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・面会に来られた際、なるべくご家族と会話する時間を作っている。その中で入居者への思いなどを聞いたり、伝える努力をしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ・馴染みのことを思い出すように昔の話をしたりしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 共同生活の場であることをスタッフ全員で理解し、トラブルをなくし、良い関係を作り、助け合って生活できるよう支援に努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・サービス利用終了後もご本人やご家族の安否を気使い、関係を大切にしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>・希望が聞ければ本人から聞いてプランに活かしている。聞けない場合は本人に寄り添ったり関わる時間をもち、その中で表現される表情・言葉・動作などから、本人の思いや意思を読み取るよう努めている。 ・本人の立場になったのケアプラン</p>		
			(外部評価)		
			<p>職員は、利用者一人ひとりに日々寄り添い、それぞれの意向や思いの把握に努めておられ個別ケース記録に記録し、職員で共有されている。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>・本人やご家族から聞き取りをして、生活歴などの情報をファイルに閉じ、ケアに活かせるように努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>・少しの変化でも記録に残して、スタッフ同士で情報の共有をし、カンファレンスなどによって話し合いの場を設けている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>・本人の言動、ご家族の意見、スタッフの意見をまとめて本人の立場になった、その人らしいケアプランを作成している。</p>		
			(外部評価)		
			<p>センター方式の書式と事業所独自の記録類をもとに、ご本人、ご家族、担当者、主治医と話し合い、介護計画を作成されている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			・ケアプランの見直し期間までにレベル低下や状態の変化があった場合は、現状にあったケアプランを新たに立て他のスタッフに意見を求めている。		・状態の変化などあった場合はカンファレンスで話し合い、課題や問題点を拾い上げ、担当者を中心に新しいケアプランを作成している。
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの計画を見直しされている。又、毎月のカンファレンスには、1週間前に「見直しシート」を職員で回覧し、意見を話し合われている。ご家族にも「情報シート」を提出いただいている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			・大切なこと、気付いたことも記入している。 ・ケアプラン、ケアポイントに添った記録 ・いつもと違った行動、言葉、表情などを細かく記録に記入し、情報を共有し、見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			・医療処置が必要な時、病院と連携し処置を受けながら、生活の継続ができるように努めている。		
			(外部評価)		
			ご家族の希望により系列のデイサービスを利用されている方もおられる。又、福祉用具の利用等も支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価)  ・ボランティアの方に協力して頂いている。		・近隣のマンション等の人たちにも声掛けをして、緊急時に応援をお願いしようと取り組んでいる。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価)  ・現在、必要性が認められないので、支援を必要としていない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)  ・運営推進会議で地域包括支援センターのスタッフに参加してもらっているが、協働しているまでにはいたっていない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)  ・定期的な診察、緊急時の往診を受けられる。 ・状態の変化時、医師に報告し、指示を受けている。 ・訪問診療の受け入れも行っている。  (外部評価)  利用者個々の状態の変化に応じていつでも相談でき、往診を受けられる体制になっている。歯科医の訪問診療も受けられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価)  ・定期的に診断、治療を受けている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・看護師を常勤させ、日常の健康管理をしてもらっている。 ・入居者の怪我や処置などについて相談し、助言やアドバイスをもらっている。処置の必要な入居者の処置をもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・早めの情報交換により、安心して過ごして頂くようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ・医師、スタッフ、ご家族との話し合いを設けている。		・終末期に関しては、どのような方針でいくか早い段階で話し合いを持ち、ご家族や本人の希望を聞いておくようにしたい。
			(外部評価) 看取りについて経験があり、入居時に家族、院長、職員と話し合い、事業所で出来ること、出来ないことについても話し合っておられる。		今後、看取りや重度化した場合についての話し合いを繰り返し、介護計画に採り入れ、ご家族とも相談しながら取り組んでいきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ・カンファレンスで、どのような方向性でいくのかスタッフ全員で話し合い、支援している。 ・医師との連携		・事業所の「できること・できないこと」を医師ともっと話し合って明確にしたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・情報シートを活用し、情報の提供に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーを尊重した支援を心がけている。</li> <li>・記録記入時、その場に置いたまま席を離れてしまうことがある。</li> </ul> <p>(外部評価)</p> <p>トイレの入り口に「つかっています」「あいています」の札があり、利用者が安心して使用出来るようになっていた。トイレから浴室・脱衣所に移動できる造りになっている。職員は、利用者の居室にはノックして声をかけてから入室されていた。</p>		<p>・スタッフ間での入居者に関する連絡、情報交換時の声の大きさ、場所に注意していきたい。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その人に寄り添って本人の想いを汲み取る。</li> <li>・自己決定するのが難しい人には、試したりして反応をみる。</li> </ul>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく一人一人のペースを大切に、その人らしく一日が過ごせるよう支援しているが、充分ではない。</li> </ul> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、食後の過ごし方等をご本人に確認をされて支援しておられた。</p>		<p>・一日、何となくボーッと終わるのではなく、その人らしく、生活に彩りを付けられるよう支援していきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ・本人の望む店ではないかもしれないが、昔から美容に気をつけている入居者に関しては、美容室へお連れしている。 ・髭剃り、口の周りの清潔(食事後) ・外出時、行事の時はお化粧品、正装をしてもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・その人のできることをお願いし、一緒に調理、片付け等をしている。 ・調理等できない人に関しては味見をしてもらう。 ・スタッフは入居者と同じ食事を一緒に食べる。  (外部評価) 現在は、2階ユニットで食事作りをされており、介護度重度の利用者に音や匂いを感じてもらえるようにされている。1階では汁物と盛りつけを利用者と一緒に作っておられる。職員同士が連携を取りながら、利用者の食事介助をされている様子がうかがえた。		・その人が食べたい物の希望も聞いていきたい。(お誕生日の時)
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ・毎日ではないが、近所のコンビニへ一緒に行って本人が食べたいおやつ、ジュースを買う。 ・晩酌 ・おやつの時、本人の好む飲み物を飲んでもらっている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ・一人一人の排泄パターンを把握し、前誘導にてできるだけトイレで排泄できるようにしている。 ・なるべくオムツやパッドを使用しないですむようにしている。 ・布パンツで可能な方は使用している。(日中)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			・昼間に入りたいという希望がある人は、日中入浴にしている。特に希望がない人に関しては、スタッフが決めている。・入浴中はリラックスして入浴できるように会話しながら、ゆっくり入浴してもらっている。		・なるべく本人の希望を聞いて対応したい。(その人にとって日中入浴がいいのか、夜入浴がいいのか、本人の立場になって考え検討する。)
			(外部評価)		
			利用者の希望に沿って入浴を支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			・その日の状態に合わせて休息の支援に努めている。 ・足浴、日向ぼっこ、夜間の声のトーン、照明 ・ホットミルクをすすめる。 ・夜入浴		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			・一人一人のできることで、できないことを見極めて、その人の生き生きした場面を引き出せるように努めている。 ・外出などで気晴らしを図っている。		
			(外部評価)		
			職員は、「今日も楽しい1日となりますように」を心がけ、その人に合った支援に努めておられる。時に、寿司職人を事業所に招き、握りたての握り寿司を皆で楽しんでいる。お遍路さんのお接待をされており、事業所内の仏様に般若心経をあげられる時には利用者も共にされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			・希望がある人にはお渡ししている。(家族さん了承のもと) ・買い物へ行った時、支払いができそうな人に関してはお金をお渡しし、支払いをしてもらっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの人数が限られているため、入居者全員できているかと言われれば疑問点はあるが、なるべく一人一人の希望に添えるよう努力している。</li> <li>・庭の観音様にお参りに行ったり、隣のデイサービスに遊びに行ったりしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日一回は外の空気に触れてもらうよう心がけている。</li> </ul>
			(外部評価)		
			美容院や買い物等、利用者個々の希望に応じて支援されており、喫茶店にも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お花見やイチゴ狩りなど季節に応じたイベントを企画している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者が行ってみたい所に、他の入居者や家族さんと一緒に行ける機会があれば企画し、実現したい。</li> </ul>
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望があれば電話できるようにしている。(家族さんに了承を得て)</li> <li>・手紙は届いても、返事はしていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか取り組めていないので、少しずつでも取り組めていけたら、入居者がより楽しく生活できると思う。</li> </ul>
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会に来られた時は、お茶を出して、ゆっくり過ごせる場を作っている。</li> <li>・面会に来られた際は、笑顔で気持ちの良い挨拶、対応を心がけている。</li> </ul>		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・全員が理解しているとはいえないが、身体拘束をし ないようなケアに取り組んでいる。やむを得ずしな ければいけない場合には、家族に説明し、最低限の拘束、 解除することを目標に検討を行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・外に出て行く入居者がいても、何らかの理由がある のでなるべく見守っている。状態・状況に応じて声掛 けし対応。 ・夜間以外は鍵をかけていない。(ただし入居者の安 全を第一に考え、やむを得ず鍵をかけることがあ る。)  (外部評価)  玄関にチャイムやセンサーが設置されていた。調査訪 問時、夕方にブラインドをおろし、雰囲気を作りさ れ「帰りたい」という気持ちを和らげられるよう工夫 されていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価)  ・入居者一人一人、どこで何をしているのか把握して いる。 ・夜間は3時間お きの巡回をしている。 ・転倒防止のためセンサーマット使用(そのつど状態 に応じて使用検討している。)		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  ・なぜその人にとって危険であるのか、どうしたら危 険を防ぐことができるのか、スタッフ間で話し合い一 人一人の状態に応じて対応している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ・ヒヤリハットや事故報告書を記入し、スタッフ間で 情報を共有し、再発防止に向けての取り組みをして いる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  ・緊急時のマニュアルを作成し、スタッフに徹底している。		・さらに徹底していく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  ・マニュアルを作成し、年に2回避難訓練を実施している。		・地域住民への呼びかけを行っていきたい。
			(外部評価)  緊急連絡網を整備されている。事業所前にある会社に火災時等の協力の依頼をされている。		さらに、今後、事業所前にある会社の方にも近いうちに事業所内の見学をしていただけることとなっていた。運営推進会議の機会に、災害時に協力をいただけるよう話し合っていくことを考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  ・その時の状況に応じて、家族さんに説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  ・毎日、健康チェックを行っており、異常の早期発見に努めている。異常があれば、Dr報告し指示をうけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・一人ひとりが服用している薬の作用、副作用を表にしており、いつでも見れる状態にしている。 ・服薬支援も必ず手渡しし、飲めたかどうか確認している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・朝食時、バナナ、牛乳摂取。(ヤクルト・ヨーグルトなど) ・適度な運動、トイレでの腹圧 ・腹部マッサージ		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ・毎食後の口腔ケア ・クルリーナの使用 ・舌たい除去 ・義歯洗浄		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・水分量少ない人は一日トータルをチェックしている。 ・少ないようだったら、食事、おやつ以外で補ってもらおう。一人一人の状態などに応じて刻み食、ミキサー食にしたり、プレートを使用している。 (外部評価) 献立は職員が立て、栄養士資格を有する職員が栄養バランス、カロリー等について点検をされている。特に、利用者の水分摂取に気を付けておられ、食事時やおやつ時、随時個々の好み等も聞きながら、水分を摂取できるようすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) ・感染症マニュアル作成。 ・排泄解除時にはゴム手袋使用。 ・トイレに手洗消毒薬設置。 ・汚物は熱湯消毒、ハイター消毒。 ・インフルエンザ予防接種。 ・ペーパータオル		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理マニュアルがあり、消毒を毎日行っている。</li> <li>・食材も、まとめ買いせず、ほぼ毎日買い物へ行って新鮮な食材を購入している。</li> </ul>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・門を開けている。(開放的に)</li> <li>・花を植え、明るい雰囲気になっている。</li> <li>・お遍路さんへの案内板をしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の人も気軽に出入りできるように、さらなる工夫ができればいいと思う。(大きな庭・畑・観音様があるので何かひと工夫できればいい)</li> </ul>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の花を生けている。</li> <li>・壁に絵手紙、季節にちなんだ掲示物。</li> <li>・和室に仏壇。</li> <li>・照明の明るさはその日の状態に合わせて調整している。(雨の日など)</li> </ul> <p>(外部評価)</p> <p>廊下には、ご家族が作った季節の絵手紙や色紙が飾られ、動物の写真も飾られている。時にボランティアの方がピアノを演奏してくださり、童謡や昔懐かしい歌などが音量も配慮され流れていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共有スペースでありながら、安心できる空間作りになっている。</li> <li>・仲の良い人たち同志でくつろげるスペース作りをしている。</li> </ul>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			・入居者さんの使い慣れた物を置いたり写真などを飾ったりと本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている。		
			(外部評価)		
			利用者の使い慣れたオルガン、加湿器、ポータブルトイレ(夜間用)なども用意されていた。利用者の写真や、自分で塗ったぬり絵なども飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			・日中、天気が良い日は、窓を開け空気入れ替えをしている。 ・各居室に消臭剤を設置している。 ・居室が乾燥しないように加湿器を設置している。 ・温度差がある時は、クーラーやエアコンをつけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			・手すりの設置。 ・エレベーターの設置。 ・手押し車の使用。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			・居室の名札(大きな文字)をその人の目線に合わせて、示している。 ・便所の標識		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			・庭が広いので散歩したり、観音様へお参りしたり、おやつを食べたりしている。畑では、ねぎをひきに行ったり、芋ほりをしたりしている。 ・隣のデイサービスへ足湯、散歩、デイでの催し物に参加している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	思いや願いが伝えられる入居者以外の方に対しては、不十分だと思われる。しかし、表情やしぐさなどから、できるだけその人の思いや願いを汲み取り支援をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	寄り添う時間を大切にして、ゆったりとした雰囲気作りをするよう心掛けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分のペースで暮らしている方もいるが、自発的な意思表示や言動が少ない方は職員が誘導している。しかし、その方にとって、心地よいペースであるよう配慮している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	普段、表情や、自発的な言動が少ない方も、職員が支援することで、その人らしい生き生きした表情や姿がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	どうしても職員の付き添いが必要な為、行きたいときに行きたい場所には行けていない。しかし、なるべく日中に戸外へ出て、観音様にお参りしたり畑へ行ったりして、外の空気に触れ、気分転換を図ってもらうよう心掛けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック・状態変化時のDr 往診・その人に応じた安全管理を行っているので、安心して過ごさせていると思う。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その方の訴えや、要望に対して、職員全員でどういった支援が良いか考え、不安を感じさせないように早く対応するよう心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会に来られた時になるべく話す時間を作り、話しやすい雰囲気作りに努めており、信頼関係はできていると思うが、家族さんからの要望などは、なかなか聞かれていない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	なかなか地域の方は訪ねてこない。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている  (自己 ② ②) ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤	地域の方と知り合い、事業所の取り組み内容や困っていることを伝えることで、理解 を得られ、協力して頂いている。
98	職員は、生き生きと働けている  (自己 ② ②) ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤	仕事の中で楽しみややりがいを見つけ、生き生きと働けている職員もいるが、不安や ストレスを感じている職員もいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う  (自己 ② ②) ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤	入居者1人1人が、自分らしく心豊かに暮らすことが出来るよう支援しているが、今に 満足することなく、より良い支援をしていかなければならない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う  (自己 ② ②) ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ その人らしい生活を送ってもらう支援をしている。また、入居者1人1人に合ったケアプランに添ったケアを行っている。  
 ・ 問題点をスタッフ全員で共有し、改善に取り組んでいる。  
 ・ 観音様を拝んだり、お経を読んでゆったりとした時間を過ごすことができる。